



# 東吾妻町

第 11 号

平成20年11月1日

発行：東吾妻町議会

# 議会だより



「おとうさん つぎはどうするの？」  
(親子で竹とんぼづくり：10月18日 太田幼稚園)

## 9月定例会

平成19年度決算を認定 .....	2 P
『地域医療の充実』など5議員が一般質問 .....	6 P
第5・6回臨時会 (一般会計補正予算) .....	9 P

# 慎重にチェック!

9月定例会

## を認定

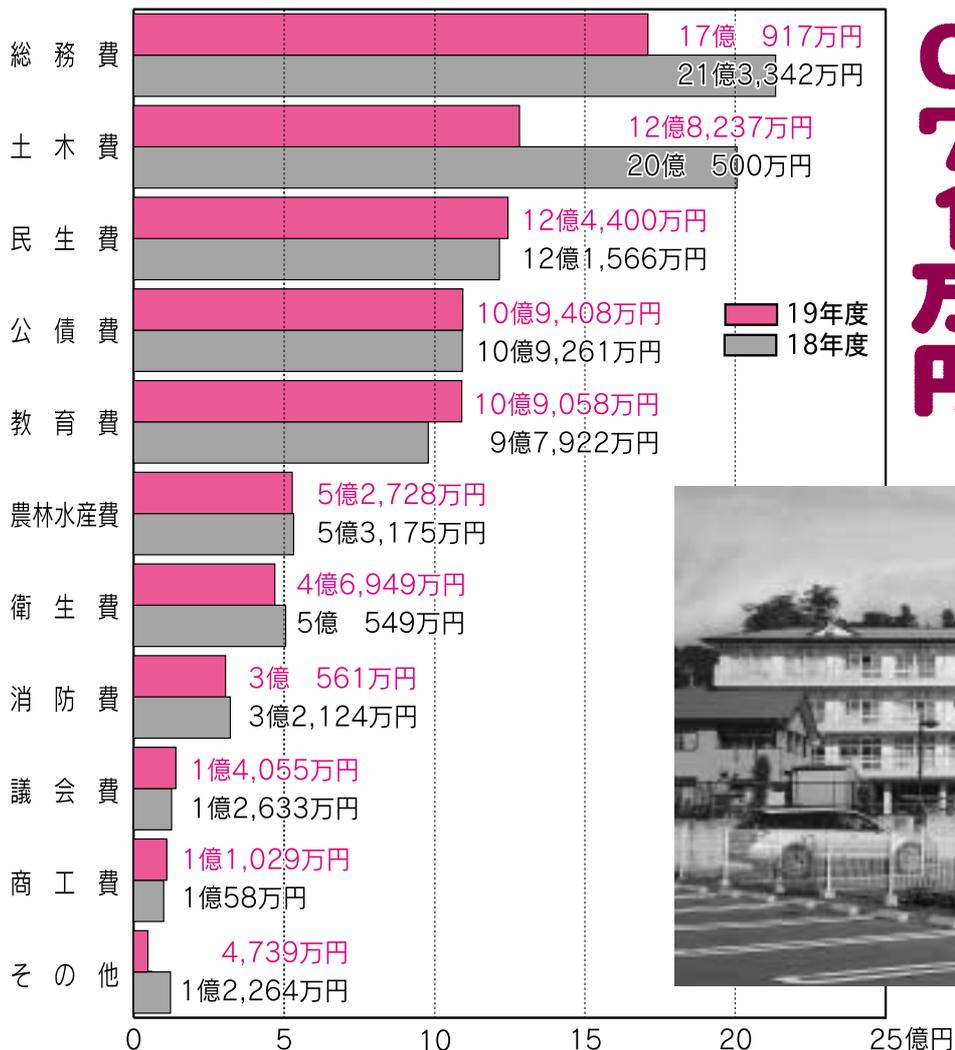
- 歳出(主なもの)**  
天狗の湯詳細設計業務委託料  
六八三万円
- 総務費**  
町道松谷・六合村線ほか一路線の  
ダム関連道路費三億五、九七万円
- 土木費**  
五分団三部消防車購入費  
一、八三七万円
- 消防費**  
原町小学校校舎新築工事請負費・  
保留地購入費等四億五、一九七万円  
坂上小学校プール新築工事設計業  
務委託料・地盤調査費二、三九万円
- 教育費**  
町道馬場・手子丸線道路災害復旧  
工事費一、三三万円ほか
- 災害復旧費**

## 一般会計決算 前年度対比10億円強の減

# 80億2,071万円

平成二十年第三回定例会は、九月九日から二十一日まで十四日間の日程で開催されました。今定例会では、平成十九年度一般会計・特別会計・事業会計決算のほか、二十年度補正予算、人権擁護委員候補者の推薦、東吾妻町教育委員会委員の任命についてなど合わせて三十二件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。  
一般質問では五人が登壇し、町政をただしました。

### 歳出決算比較



# まちづくりはどのように使われたか

## 平成19年度決算

### 監査報告

平成19年度一般会計・特別会計・事業会計の決算審査の結果、計数については正確であり、予算の執行は概ね適正かつ効率的に執行されていると確認しました。

### 一般会計への審査意見

財政運営は財源の充足確保と歳出面では人件費、物件費等の抑制を図り、住民福祉・町民サービスの向上のために、より効率的な行政システムを確立し、堅実な運営を望みます。また自主財源の確保と負担の公平性を期す上からも滞納額の解消に努めていただきたい。

財政運営の判断指標は、財政能力を示す財政力指数（注1）は0.45と厳しい状況です。

財政の健全度を示す実質公債費比率（注2）は19.3%で正常値を超えています。

町債（借金）残高は104億7,107万円で1人当たり約62万円になります。

町単独補助金に関しては補助金審査会においても精査の上、より有効に活用されることを要望します。

注1) 「1」に近いほど財政力がある。

注2) 特別会計等も含む予算全体に対する借金返済の比率。県平均は11.9%で、18.0%を超えると県の指導を受けなければならない。

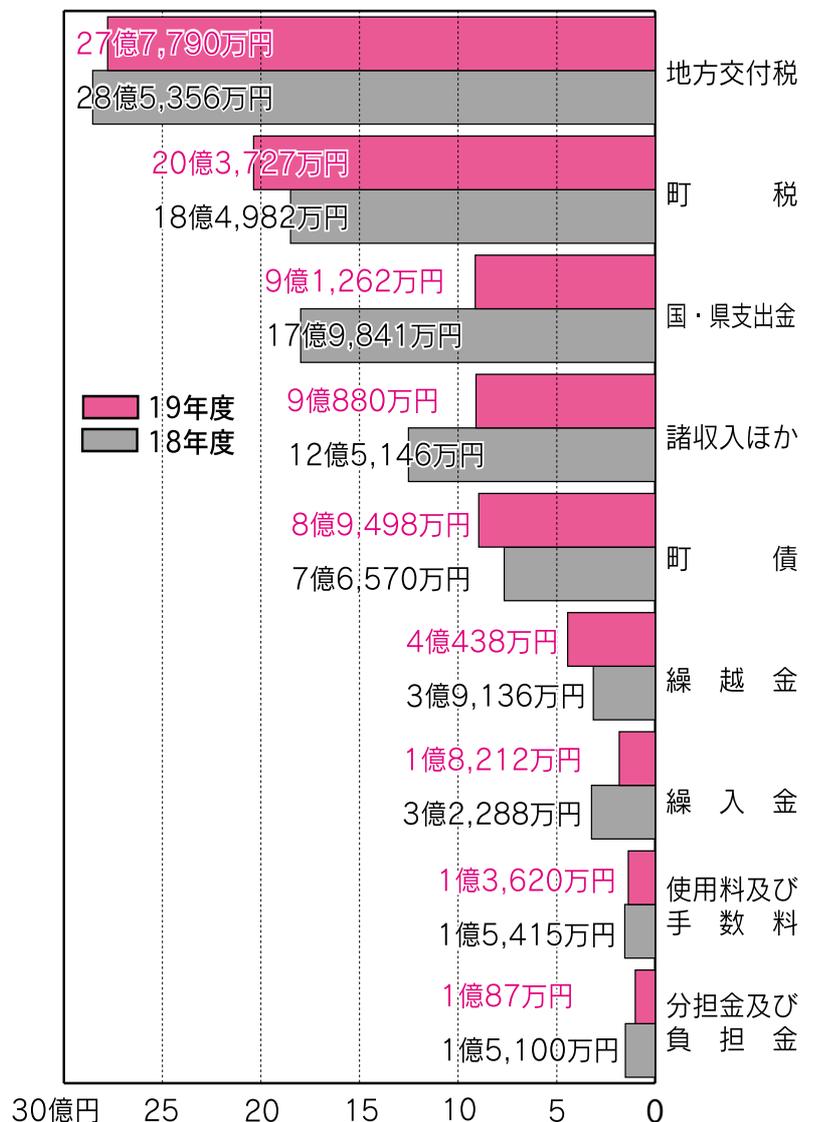
### 歳入(主なもの)

**町税**  
所得税から個人住民税への税源移譲に伴い、所得譲与税措置されていたものが増額。たばこ税は減。法人税・固定資産税は伸び、全体で一億八七四五万円、10・1%の増額。

**地方交付税**  
普通・特別交付税など減額、前年比2・7%減。

**国・県支出金**  
ダム事業である、あがつまふれあい公園の用地買収が18年度で完了したことなどで大幅な減。

### 歳入決算比較



# 平成19年度 会計別決算額

会計名			歳入総額	歳出総額
一般会計			83億5,516万円	80億2,072万円
特別会計	国民健康 保険	事業勘定	18億2,163万円	17億2,566万円
		施設勘定	9,247万円	9,036万円
	老人保健	20億6,950万円	20億6,917万円	
	特別養護老人ホームいびつ荘運営事業	2億3,703万円	2億2,561万円	
	介護保険	9億9,457万円	9億6,907万円	
	地域開発事業	4,209万円	3,976万円	
	下水道事業	6億8,081万円	6億6,943万円	
	簡易水道	8,740万円	8,575万円	

## 水道事業

	収入	支出
収益的	2億799万円	2億743万円
資本的	7,487万円	1億4,674万円

## 国民宿舎事業

	収入	支出
収益的	2億9,492万円	2億9,601万円
資本的	3,800万円	7,944万円

資本的収支の差は損益勘定留保資金( )で補てん  
 収益的収支のうち、減価償却費等の現金の支出を必要としない費用のことで、費用化して資本的収支の資金不足に充当することができる。

# 平成19年度特別会計決算

## 地域開発事業

宅地事業については箱島団地は完売、岡崎団地は依然7区画が未販売でした。

情報通信事業の加入は、692戸となり、東地区全体の95.5%、インターネットの利用者は326件となりました。

今後は未販売区画の早期完売に最善を尽くすこと。情報通信事業は利用料の適正化を検討し、一般会計からの繰入がなくても運営できるようにすることが求められます。

## 水道事業

業務量では、総配水量17万ト、給水人口 11,368人でした。建設改良工事関係では19件、7,200万円弱を施工しました。

## 国民宿舎事業

一般会計より補助金を1億1,197万円受け入れをしました。これは起債の償還額を超えてしまっているため非常事態となっています。

施設の売却や指定管理者制度移行なども含めて運営形態をどうするか早急に決定していくことが必要です。

## 下水道

公共下水道事業では、15年度末に駅北区域から供用開始し、駅南の須郷沢地区から紺屋町の一部まで供用開始されました。建設工事で2億円弱の工事を実施しています。

合併浄化槽は、新たに89基設置しました。

## 簡易水道

松谷簡水と坂上大谷簡水に、量水器設置工事が実施され、これにより町全体の設置が完了しました。

## 国民健康保険

事業勘定では療養給付費は前年から見て件数及び支払額とも上がっています。

19年度は税率の引き上げも、基金の取り崩しもしないで運営出来ましたが、厳しさは変わらず、更なる不納欠損額の解消と収入未済額の徴収事務に努力されるよう要望しました。

施設勘定では経費削減に努め健全な運営を要請致しました。

## 老人保健

老人医療費は年間平均受給者が前年度に比べ約5%減少し、3,030人でしたが、一人当たりの医療費が増加したため医療給付費が前年度より約5,500万円程増加しました。

また 1人当たりの年間医療費は約68万円でした。

一般会計からの繰入金は2億2,588万円になっています。

## 介護保険

介護給付準備基金積立金は1億6,070万となっています。不納欠損、収入未済額については解消、徴収事務に努力するよう要望しました。介護保険料の基準は月額2,520円で、健全に運営されていると認めました。

## 特別養護老人ホーム

一般会計からの繰入金は3,006万円の前年度より1,437万円減額となりました。経費の削減が図られたものと思います。

入所者の男女平均年齢が88歳となり、高齢化が進行しています。また入所介護度は男女平均4であります。



## 教育委員に 小林靖能氏

昨年来、教育委員会委員が1名欠員となっていました。小林靖能氏の任命に同意しました。

今回定足数を満たし、教育委員の互選により教育長が選任できるようになります。

10月1日に任命し、任期は平成22年6月20日です。

小林氏は38年間教職員として奉職されました。また、平成15年10月から平成20年6月まで東吾妻町教育委員会委員として豊かな識見を持ち職務を遂行されました。



文教厚生常任委員会が  
岩井親水公園を現地視察



第2回定例会で文教厚生常任委員会に付託され、継続審査の結果が、本会議で次のように決まりました。

### 趣旨採択となりました

◎後期高齢者医療制度の撤廃を求める請願  
全日本年金者組合 群馬県本部 執行委員長 関口昭三

## 平成20年度補正予算

会計名	補正額	予算額
一般会計	1億6,775万円	89億938万円
国民健康保険 特別会計	事業勘定	1,622万円
	施設勘定	14万円
老人保健特別会計	2,609万円	2億3,134万円
介護保険特別会計	1,182万円	11億5,952万円
下水道事業特別会計	-81万円	6億1,708万円

### 主な内容

#### ◎企画費

東吾妻町地域公共交通活性化協議会を5月に立ち上げ、調査等に必要負担金500万円追加。

#### ◎農業費

町内酪農家の方が草地林地一体的利用総合整備事業で、牛舎新設を行うため6,687万円追加。

#### ◎保健体育費

岩井親水公園ヘリポート等整備工事請負費100万円追加。

#### ◎災害復旧費

集中豪雨による道路復旧費工事請負費1,300万追加。

## Q & A

**議員** 岩井親水公園整備について、緊急ヘリポートの説明があったが、今後地域に対しての説明と、急患を運ぶための、道路整備を進めていく考えはあるのか。

**総務課長** 説明会は機会を捉え行っていく。道路も未舗装なので今後検討する。

## 人事

### ◆人権擁護委員

候補者

候補者 任期(3年)

満了に伴う次期候補者に、平成15年から現在まで、2期にわたり委員を務められている

新井ひろみさん

(3期目：原町)

本多由巳子さん

(3期目：岩井)

を適任と認めました。

### ◆議会会議規則

の一部改正

(議員発議)

地方自治法の改正に伴い、議会会議規則の1部が、議員発議により改正されました。

これにより、議案審査や議会運営の充実を図る目的で開催されている全員協議会が、議会活動の範囲として明確化されました。

### 条例の一部改正

特別職報酬等

審議会条例

議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例

## 地域医療の充実

### 答 関係機関と協議



前村 清議員

**質問1** 日赤原町病院に産科・小児科・脳神経外科がないためにその多くが、郡外の病院で受診している。地域の病院で出産できない、そして受診できないことを憂い、多くの人たちが設置を望んでいる。全国的な医師不足の中、今後医療体制整備に町としてどのように

関わってゆくのか。

**町長** 地域の中核病院であり、このままでいいのかという思いがある。新臨床研修制度という大きな壁が立ちただかつている。医師が大都市の病院へ行ってしまい、行政の力でもどうにもならない。日赤・群馬医師会とも協議し、復活できるよう努力する。

### 防災無線の活用

**質問2** 今年のゲリラ豪雨の警戒警報の情報などが伝わり難かったがその対応をどうするのか。町

民に直結した運動会や、修学旅行の帰宅時間のお知らせが少ないなどの住民の声が高いが、利用の見直しは出来ないのか。

**町長** 防災に関する放送は、住民の生命・財産・身体に関することで、行政の責任として行わなければならないと考えている。地域・学校行事などは前向きに検討したいと考えている。便利と思われる防災無線にしてゆきたい。もう一步踏み込んだ形で実施したい。

### 地域医療の一翼になう



国民健康保険診療所



## ダム直下となる町の取組

### 答 前向きに検討していく

**質問1** 無駄な公共事業としてダム建設に反対する動きがあるが、町長の考えを聞きたい。



青柳はるみ議員

**町長** ハツ場ダム反対は、前に進もうと生活再建に努力している地元住民の心情を反映していないと

言わざるを得ない。中止されるような事があれば、下流都県からの費用負担は見込めなくなるため、

国の負担は逆に増大することは明らかである。地域住民の早期生活再建を最重要視する中で、町の

### その他の議案

工事請負契約の締結  
委託契約先〓群馬県

町道松谷六合村線

改築工事 その2

契約金額

一億三、五二一万円

# 町政を



須崎幸一議員

## この町の農業政策は

### 【答】農家や指導機関と一体で取り組む

負担が少ない様々な事業を推進していきたい。  
**質問2** 第一次総合計画にあるように「必ず立ち寄りた観光地」とするための対策はどう進んでいるのか。「人から人へのおもてなし」で、町の歴史と自然を案内するガイドの育成はどうなっ

ているのか。  
 また、観光資源の知名度アップに努力すべきと思うが、どう計画されているのか。  
**町長** 来年三月に完成予定の深谷パーキングをはじめ、十二沢パーキング、健康増進施設、遊歩道の補修、猿橋等の整備を進

めている。その中にはドッグランも予定されており、愛犬家の立ち寄りた場所となると思う。地域農産物販売による活性化についても調整し、また県の観光局と連携しながら町の紹介をしていきたい。  
 あと一年半で145号

線が暫定開通、二年半でJRが付け替えになる予定であり、ボランティアをお願いしていく時期がきたと感じ計画していきたい。  
 活気ある地域作りにつながる事ができるような様々な方面から検討する。

**質問1** 肥料・飼料・原油の高騰に対する農業対策について

**質問2** 農産物に係る食の安全対策について

**質問3** 都市交流の中で農業の活性化対策について

**町長1** 耕畜連携をとり有機農業を推進すると共

に、農家・指導機関（県・JA）町が一体となって、必要な施策を積極的に実施し、農家経営の安定と所得向上を図りたい。

**町長2** 「農作物に残留する農薬に対してポジティブリスト制」が導入さ

れ、原則全ての農薬に作物ごとの使用基準が設定されている。県とともに組織的に農薬の適正使用

に係る説明会等、農薬を飛散させない取り組みを徹底したい。  
**町長3** りんごやぶどうなどの観光果樹園の開設とりんごのオーナー制が

定着しつつある。

また、今年度より試験的にスタートした「学校教育における農林漁業等体験活動」を視野に教育委員会や、農協、農業団体と協議し、早期に体制

を整備して地域活性化を模索したい。



「秋のぶどう園」

町道松谷六合村線  
 改築工事

（仮称）雁ヶ沢橋梁  
 上部工

契約金額

二億五、九七〇万円

#### 字区域の変更

町営松谷盛土土地改良事業の施行に伴い、地区内の土地の区画及び形状を改めた結果、字の区域を変更する必要が生じました。

#### 再生計画決定に伴う

#### 退会選択

株式会社伊香保ゴルフ倶楽部再生計画の認可決定の確定を得ましたが、町としては新会社への移行はせず、退会を選択しました。

### 選挙

吾妻東部衛生施設組合議員補欠選挙を行いました。

当選人 角田 美好

大関 広海

## 一般質問

## 「命の格差」の打開へ

### 答 健康管理は町の使命



金澤 敏議員

きがあれば、町独自の助成の検討を。

第二、療養病床の6割近くを削減する計画に対して全国の市町村長や各地の医師会、病院会等「反対」の声を上げている。当町も医療・介護体制を守るべく発信を。

**質問** 06年からの「医療改革」で低所得者層の生活や健康はますます厳しくなっている。体の具合が悪くても治療を受けなかった人の割合は世帯収入八〇〇万円以上の人が16%に比べ、三〇〇万円以下の低所得者層は40%を越え、病気の悪化が進み「命の格差」が拡大している。

第一、問題の多い「医療改革」で障害者の医療助成費を制限する動きが広がっている。本県はどうか。もし検討などの動

第三、特定検診は受診者の健康ではなく国民同士を対立させ、医療費のかかる人を排除する制度。問題だらけのこの検診制度の撤回をはたらきかける考えはないか。

**町長** 第一、群馬県では「障害者の福祉医療費補助金」制度は拡充されてきている。助成をなくすこととは無いと思うがさらなる拡充を求めていく。

第二、新聞各社の報道



町民の健康診断

でも数字がまちまちで医療療養病床削減はかなり流動的。再編計画の見直しについては郡町村会や県と協議したいと思っている。

第三、特定検診のペナルティは気分のよいものではないが、健診率向上のためと前向きに考えている。町民の健康管理と医療費の抑制に努めることが町の使命と考えている。

## 職階制の条例化は

### 答 現状維持で



大図 広海議員

**質問** 職員給与は、公平委員会を置く地方公共団体に職階制を強いているが、職階制を導入している当町のあり方を考慮すると、法25条第5項

(明確な給料額の幅)を全うする為には、職員の給与に関する条例と呼応するような職階制を条例で定める必要があると考えられるが。

実例では、課長級は6級相当、課長補佐級は5級相当と類推されるが実態は。

あわせて適用されている「級・号」が職員ごとに公開対象となる必然性があると思うが方向性を示されたい。

**町長** 当町は補助機関に職務職階制を導入してい

ないが、実際は国家公務員に準じ、関連条例・規則により職務を規定しているの、改めて条例で定める必要はないと考える。

次に6級・5級適用職員の実態は、現時点では6級は課長・5級は課長補佐及び職務複雑度が同程度の者としている。

各職員に適用されている級・号の公開対象の必然性については、職員個々の給与情報は個人が識別され得る情報となる。私生活等への影響、公正かつ円滑な人事確保に支障を及ぼすので、非公開とする方針である。

補助機関とは、首長の行政執行を補助するため、副町長や職員等が置かれ、町長が指揮監督するとともに、その権限に属する事務の一部を補助機関である職員に委任しているもの。

# 町長より報告

3法人の平成19年度の経営状況報告がありました。

## 駅北土地区画整理組合

事業開始後12年が経過しました。事業費は4億1,588万円となりました。収入は、保留地処分金が1億5,822万円、補助金が1,217万円、借入金として2億4,170万円、年度末の負債額は累積額で2億1,810万円です。事業進捗率は約90%となっています。

東側地区につきましては依然として事業同意が得られない状況ですが、平成20年度中の工事実施、事業認可期間の平成22年度までには換地処分などの法手続きを完了し、事業が完成することが望まれます。

## 東吾妻町土地開発公社

19年度については、田野原団地2区画、舞台団地2区画の販売促進に努めましたが、販売実績はありませんでした。

## ㈱岩櫃ふれあい公社 (コニファーいわびつ)

平成19年度の集客実績は、15,132人でした。

事業収支関係において売上高は1億6,613万円、販売費・一般管理費については、1億4,694万円となっています。その結果、平成19年度は経常損失2,030万円、当期末の未処理損失は7,234万円となっています。

現在も厳しい経営環境にあります。

## 第5回臨時会

8月14日

### 平成20年度 補正予算

会計名	補正額	予算額
一般会計	3,064万4千円	87億4,162万8千円

#### ◎消防費

県消防大会出場費用として172万4千円追加。

#### ◎教育総務費

東給食調理場食器洗浄機を購入するための費用542万円追加。

#### ◎災害復旧費

7月26日、27日にかけての集中豪雨被害箇所の復旧費として、2,350万円追加。

## Q & A

### 東調理場火災

**議員** 洗浄機は何年に購入したのか。

**学校教育課長** 平成元年に設置している。

**議員** 約20年になる。今回の火災は過熱防止用の配電盤の漏電だということだが、ブレーカーは落としていなかったのか。

**課長** 指摘のとおりだが、漏電遮断機全部を切るわけにはいかない。不必要なものも長期休業等中はこれからは落とすように反省点として実施していきたい。

**議員** マニュアルなどを作って事故防止の再発に努めてもらいたい。他の施設にも古い機械がある。この機会に点検して必要な対策をし、結果が出たら詳細の説明を。

**町長** これから検討して後で答える。

**議員** 機械設備は耐用年数がある。10年というも

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**生活環境課長** ホースは競技用で、使っていると縮むことがあり、1ミリ

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

## 第6回臨時会

8月12日

### 意見書を提出

東吾妻町議会は、次の意見書を政府関係大臣に提出しました。

#### 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

昭和45年「過疎地域対策緊急措置法」制定以来一定の成果を上げたが、人口減少、高齢化は特に顕著で、多くの集落が消滅の危機に瀕し、極めて深刻な状況に直面している。現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月末をもって失効するが、引き続き地域振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣  
農林水産大臣 国土交通大臣

### 県消防大会費用

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

**議員** 消防費について、郡大会出場時、新しいホースを買ってまた改めて購入するのが。

### 人事

固定資産評価員

小山枝利子さん

(8月1日より)



# 委員会報告

## ハツ場ダム対策特別委員会

雁ヶ沢ランプ（本線橋）  
7月にトンネルが貫通し  
橋の工事が進んでいる



9月11日、7月末から8月17日までの集中豪雨による崩壊・路面洗掘箇所のうち、5箇所について現地調査を実施しました。

このうち国の災害査定対象箇所は2箇所、路面洗掘表層流出などは単独費で復旧しなくてはならない箇所もありました。

台風シーズンを迎えるにあたり、生活道路における災害は、緊急に復旧工事を実施することも、やむを得ないという方向となりました。

7月24日  
集中豪雨で  
崩落した  
町道  
馬場相原線

9月16日、関係者の出席を求め、ハツ場ダム関連事業の20年度中盤の進捗状況について説明を受けました。

7月23日には雁ヶ沢トンネルの貫通式が行われたなど、確実な前進が行えるよう努力してきたいとの報告を受けました。

### 「国関係」

家屋移転については、24戸の移転が済み、今後

14戸が予定されている。用地買収では岩島地区が88・5%、須賀尾96・2%、大柏木45・7%の進捗状況。

大柏木トンネルについては9月16日に掘削を再開し年内には貫通の見込みであること。

その他JR工事の進捗状況と予定。広石簡易水道の水源の切替、岡原盛土造成工事の進捗状況と予定、久久戸橋の進捗状況

など。

### 「県関係」

用地買収状況、雁ヶ沢ランプ3号橋の架設を予定。

県道林・岩島線については、町道5284号線に接続部分まで県が担当することになった。

猛禽類営巣のため遅れていた鎌田沢砂防工事が7月下旬に再開されたこと。

### 「町関係」

その他町道松谷六合村線等の工事進捗状況、土地改良の進捗状況、県道川原畑大戸線の進捗状況

基金事業の健康増進施設（天狗の湯）の建築確認申請を8月29日に提出したこと。

渓谷パーキング工事、渓谷遊歩道補修整備、ふれあい公園整備計画についての現状と今後の予定。



## 行財政改革推進特別委員会

9月16日午前10時より、第1回の委員会を開催しました。議会再編により誕生した委員会の初会議ということで、今後の方針について協議を行いました。

議員の定数、議員報酬について  
県内市町村の、現状についての資料配布のみで、次回の調査としました。

### 集中改革プランについて

遅々として進まぬ、組織機構の改革を中心に、財政、定員管理などが議題となりましたが、特にポイントを絞らず、集中改革プラン全体について、調査検討します。

### 町営施設運営について

あづま桔梗館、ふれあいの郷、榛名吾妻荘、特別養護老人ホームいわびつ荘が中心議題とされます。指定管理にするのかなど、町にとって最良の方法を選択しなければなりません。合併時の未調整の、町有施設もあるとの指摘などから、町有施設全般にわたり、調査

検討します。

議員の定数、議員報酬について

県内市町村の、現状についての資料配布のみで、次回の調査としました。

## 文教厚生常任委員会

7月16日、幼保一元化・学童保育・延長保育について議会サイドとして過日の明和町認定こども園や高崎市倉淵や

状況、ヘリポート予定地、東給食調理場に再購入された食器洗浄機を視察しました。

も園や高崎市倉淵や六合村のこども園の視察を踏まえて審議しました。

様々な結果を踏まえ議会サイドとして議論した内容を学校教育課長・補佐に見として伝えました。

会期中の9月11日原町小学校建設進捗



町営施設 あづま桔梗館



完成した原小特別教室棟にて

## 地域活性化対策特別委員会

9月17日に委員会を開催し、町側から各事業の報告がされました。

ふくしふれあいロードは、土地交渉をして年度内に完成が予定です。

街路事業は、前号で設計変更がなされた旨の報告をいたしました。現状では6年間の事業延伸をし、町の方針が決まり次第、計画変更に伴う意見反映のための公聴会（地元説明会）を予定して

います。平成25年度末に完成を目指しているとの

こと。 駅北土地地区画整理事業は、原町中学校東側の未同意地区を除く一部で、河川法許可後速やかに着手することです。



ふくしふれあいロード

## 議会からの請求に基づく監査の結果報告

平成20年第3回臨時会で行政事務調査特別委員会は調査の最終報告をしました。一部の調査を町監査委員に監査請求をし、結果の報告がされました。

「東地区簡易水道料金及び箱島岡崎地区農業集落排水使用料金等の統一に関し入札、契約及び追加支出の問題」

入札及び契約について

町で定められた入札審査等所定の手続きを経て執行された。

1者随意契約について

例外的な方法であり、安易に契約することなく透明・競争性を確保し、経費節減を心がけるべきである。

「情報通信事業における加入負担金及び使用料の関係」

加入負担金未徴収の件について

地元説明会などでも免除の明示がされており徴収は困難。

使用料について

根拠条例が未整備であったため徴収困難。

# Voice まちの声

## 「道路愛護作業後の風景から」



おくぎ かつら  
奥木 桂さん

(新巻：54歳)

アスファルト舗装のちょっとした切れ目からでも芽を出し、成長する雑草のたくましさには目を見張るばかりで、秋の彼岸頃まではその伸びも著しく、車で通り慣れている道もいつの間にか狭くなったのかと思うほどでした。

10月初めの「道路愛護」作業で、これらの雑草や道路法面から覆い被さっていた藁、小木の枝等が取り除かれ区間は、道路幅が広がったように思え走行しやすくなったと感じられました。

また、ボランティア作業とは違って経費はかかるのですが、専門の業者に道路脇やカーブの内側にある木立の伐採や枝打ちをしてもらった結果、見通しが格段に向上し、走りやすくなった箇所もあります。加えて、日当たりも良くなり冬期の路面凍結防止にも効果が期待されます。

未改良箇所が多い吾妻の道路ですが、厳しい財政事情から早急な改良工事が望めない今、安全性の確保や走行性の向上が期待できる方策が他にもないだろうかと考えさせられた風景でした。

## 郡民体育祭

### 玉入れ・ターゲットバードゴルフついで健闘

9月28日六合村立六合中学校を主会場に、第47回郡民体育祭が開催されました。

議員、教育委員、町三役と女子チームによる玉入れでは4位、男子4名によるターゲットバード

ゴルフでは5位、他の一般種目に支えられ、総合では準優勝の成績を収めることができました。

秋のスポーツの祭典を通じ、各町村の仲間と親睦を深めると共に、熱戦の汗を流しました。



## 編集後記

9月1日防災の日、認定されました。

指揮をとっていた福田首相辞任のニュースには驚きました。8月9日は集中豪雨、又台風13号でわが町も大きな被害をこうむり、1日も早く対処するための補正予算も成立しました。

議会構成も再編成となり、新たに行財政改革推進特別委員会が設置となりました。

また、今定例会では19年度の決算が全会計

町民の皆さまに、公正でわかりやすく伝える広報に努力して行きたいと思っております。公務員は全体の奉仕者であり、議会は執行機関と一歩離れ、独自の原理を基本とする議事機関であると思っております。

是非、町民の皆さまの御支援、御協力をお願い致します。

(佐藤 利一)

### 前列右より

委員長

原田 睦男

副委員長

青柳はるみ

委員 佐藤 利一

### 後列右より

委員 角田 美好

委員 須崎 幸一

委員 金澤 敏

委員 中井 一寿



新しい編集委員